

早稲田奉仕園スコットホール（東京都選定歴史的建造物）

この煉瓦組積造の建物は、1918年の米国バプテスト総会で報告された早稲田奉仕園の事業に強く賛同されたJ・E・スコット夫人（1851～1936）によって、天に召された夫の記念として寄贈されたものです。

ヴォーリス建築事務所の設計原案に基づき、早稲田大学の内藤多仲教授が研究室が施工管理を行い、同研究室の今井兼次助教授（当時）が担当者となって設計を完成させ、竹田米吉店が施工を請け負いました。

1921年に献堂式（竣工式）が行われ、スコットホールと名づけられました。翌年の関東大震災で塔屋の一部が崩落し補修をされた以外は、現在もほぼその原型が保たれています。

寄贈者の志を覚え、永く後世に保存したいとの願いから、東京都の「歴史的建造物」の選定を受け、平成22年度に「東京都歴史まちづくりファンド」を活用し、構造の補強と外観の全面保存改修が行われました。



William Merrell Vories（ウィリアム・メレル・ヴォーリス）[1880～1964]

1905年（明治38年）米国より来日。太平洋戦争当時、多くの外国人が日本を離れる中でも、自らの意志で日本への帰化を選択。一柳米来留（ひとつやなぎめれる）と改名し、日本の地に留まり建築活動などを行う。

主な作品：西町インターナショナルスクール〔松方ハウス〕（港区）、明治学院礼拝堂（港区）、山の上ホテル（千代田区）

「東京歴史まちづくりファンド」の助成を活用し補修工事を実施（H22年度）

設計：株式会社一粒社ヴォーリス建築事務所

施工：株式会社佐藤秀

